

令和7年度 社会福祉法人杉戸町社会福祉協議会 事業報告

令和8年3月31日現在

1 社協財源の確保と組織の強化

(1) 会員の募集

募集時期については各地域の実情に合わせての実施をお願いした。支部長(区長)、班長等の協力により各世帯に社協会員加入を呼びかけた。

会員種別	加入世帯数	会費実績額
一般会員	8,437 世帯	4,295,300 円
賛助会員	94 世帯	285,000 円
特別会員	21 世帯	250,000 円
合計	8,552 世帯	4,830,300 円

会員加入率: 43.0 %

(2) 社協だより広告掲載

社協だよりに広告スペースを設け、企業等の広告掲載をした。

企業等広告掲載件数: 広告8件

(3) 使用済み切手等の収集

使用済み切手や書き損じ・未使用はがき等を収集し、その益金を社協事業の財源とした。

切手整理ボランティアの活動により整理された使用済み切手を送付することにより、4,900円を得た。

(4) 福祉バザー

第18回杉戸町障がい者週間記念事業の一環として、青空市に参加した。

実施日: 12月7日(日) 於: カルスタすぎと休憩広場

売上金: 55,840円

(5) 入れ歯リサイクル

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会(坂戸市)への事業協力として、不要入れ歯の回収ボックスを杉戸町役場とすぎとピアに設置した。

収益金: 6,932円

(6) 自動販売機の設置【収益事業】

公共施設等に自動販売機を設置した。

設置場所: ①杉戸町役場②エコ・スぽいずみ③リバティールホール杉戸④環境センター⑤西近隣公園⑥倉松公園⑦さくら公園⑧国体記念運動広場⑨南グラウンド⑩南テニスコート⑪西公民館⑫南公民館⑬高野台駅東口⑭高野台駅西口⑮深輪健康公園⑯屏風フットサルパーク⑰いずみ公園

収益金額: 2,723,416円

2 啓発活動の促進

(1) 社協だよりの発行

広報紙(すぎと社協だより)を年2回発行した。

号	発行日	発行部数	主な内容
第106号	令和7年8月1日	19,500部	令和7年度事業計画・予算、令和6年度事業報告・決算、赤十字会員増強運動実施報告
第107号	令和7年12月1日	19,500部	共同募金運動、社協会員加入状況報告、成年後見支援センター案内

点字サークル「杉」の協力により社協だより点訳版を作成し、公共施設に設置及び個人に送った。

音訳ボランティア「あいいうえお」の協力により社協だより音訳CDを作成し、公共施設に設置及び個人に送った。

(2) ホームページの活用

ホームページを開設し、社協事業の周知、報告等情報を発信した。

更新回数: 22回

3 地域福祉

(1) 支部社協活動の推進

① 支部育成費助成

前年度会費実績の支部(43支部)に対し、会費実績額4%+均等割り3,000円を助成した。

助成額: 329,324円

② 支部活動費助成

支部で行う地域福祉活動に対し100,000円を限度に助成した。

申請支部数:9支部

助成額:800,000円

(2) 友愛訪問

民生委員の協力により、一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者、認知症高齢者に対し、慰問を実施した。

対象者数:夏期450人 冬期353人

(3) 長寿記念品

長寿夫婦(90組)に記念品(高級煎茶)を贈った。

(4) 障がい者週間記念事業

杉戸町、杉戸町障がい者協議会と共催により、障がい者への理解と共生社会を目指し開催した。

実施日:12月5日(金)～7日(日)

場所:カルスタすぎと

内容:団体活動発表、杉中吹奏楽演奏、福祉団体等の活動紹介展示、アールブリュット展、青空市など

(5) 彩の国あんしんセーフティネット事業

社会福祉法人椿寿会と協働して、利用可能な制度や支援機関への紹介を行うとともに、相談者が逼迫した状況にある場合は経済的援助(現物給付)を行うなど、即応的かつ継続的な支援を行った。また、生活困窮者の自立支援機関であるアスポート相談支援センター埼玉東部と連携し、生活困窮者の自立に向けて支援した。

相談件数:0件

支援件数:1件

(6) フードバンク事業

生活困窮者が逼迫した状況にある場合に、他事業や他機関による支援と合わせて経済的支援(現物給付)を行い、自立を支援した。

相談件数:19件

支援件数:19件

(7) フードパントリー事業

「すぎと居場所づくり応援隊」が実施したひとり親家庭を対象に食料等を無料で配布するフードパントリーに協力・支援した。配布数:延べ592世帯(対象児童は計1,029人)

フードパントリー	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
配布世帯数	76	69	70	69	72	71	427
特別パントリー	7月(土用の丑の日)		12月(クリスマス)		2月(節分)		合計
配布世帯数	40		67		58		165

(8) 見守りネットワーク

杉戸町あんしん見守りネットワークに参加した。また杉戸警察署と見守りネットワークにおいて、社協事業を通じ高齢者等の見守りをした。

(9) ベビーベッドレンタル事業

民間業者と連携し、ベビーベッドの無料レンタル(最大6か月間)を実施。子育て世帯の経済的負担を軽減し、杉戸町内の育児環境の向上と充実を図った。

利用件数:26件

(10) ふれあいコンサート

杉戸町障がい者協議会と共催により、障がいのある方、ご家族、仲間、支援者がふれあい、杉戸南中学校吹奏楽部の演奏を共に楽しむコンサートを開催した。

実施日:8月7日(木)

場所:すぎとピア多目的ホール

参加人数:約200人

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター運営事業

町内で活動するボランティア団体や個人のボランティア活動を支援した。また活動を始めたい人の相談やボランティア保険の受付事務等を行った。

① ボランティア登録者

区 分	団体(人)数
団体(人)	25団体(861人)
個 人	65人

② ボランティアの需給調整

ボランティア活動を希望する個人・団体と、支援を求める団体等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行った。

・ボランティア依頼件数 32件

③ ボランティア保険の受付

ボランティア保険加入者数:558人

(2) ボランティア体験事業

ボランティア活動の「体験」の機会を提供し、ボランティア活動への興味・関心を深め、地域で共に支え合う「福祉のまちづくり」の推進を図ることを目的に実施した。

参加延べ人数:130人

① ボランティア活動はじめての一步 実施日:7月23日(水) 参加人数:3人

初めてボランティア活動をする方を対象に、ボランティア活動の心構え、知識の習得を図った。

② ミニ点字絵本を作ろう! 実施日:8月26日(火) 参加人数:21人

点字シールを貼って点字絵本を作ることにより、福祉について考えるきっかけの場を提供した。

③ 手話であいさつしてみよう! 実施日:7月24日(木) 参加人数:10人

「おはよう」「こんにちは」など、あいさつの表現や簡単な会話を学ぶことにより、福祉について考えるきっかけの場を提供した。

④ 切手整理をしてみよう 実施日:8月4日(月) 参加人数:8人

寄附でいただいた使用済み切手の整理を行なった。使用済み切手の使途、リサイクル活動の啓発、自宅等で気軽にできる活動の1つであることなど、理解が深まった。

⑤ おやこ参加でいい(DAY)キャンプ 実施日:8月2日(土) 参加人数:13人

炊出し訓練やロープ結索方法、災害VC体験等親子で楽しく防災について学び、家庭内での防災意識の向上を図るとともに、身近な食材で簡易な非常食を作ることができることを学んだ。

⑥ 筆談用ミニホワイトボードを作ろう 実施日:7月23日(水) 参加人数:5人

筆談用ミニホワイトボードを作成し、聴覚障がい者や耳が聞こえづらい人への理解を得るとともに、情報保障の必要性を学んだ。

⑦ 会えなくても繋がろう～手紙に思いを込めて～ 参加人数:17人

高齢者施設利用者・入居者との手紙のふれあいを通じ、高齢者を思う心とボランティア意識の向上を図った。

⑧ 高齢者を知ろう! 高齢者と話そう! in デイサービス東埼玉

実施日:7月19日(土)～8月29日(金) 参加人数:2人

「デイサービス東埼玉」で高齢者との交流を通じ、思いやりの心の醸成を図った。

⑨ 高齢者を知ろう! 高齢者と話そう! in 特別養護老人ホームはなみずき

実施日:7月22日(火)～8月29日(金) 参加人数2人

「特別養護老人ホームはなみずき」で高齢者との交流を通じ、思いやりの心の醸成を図った。

⑩ 高齢者を知ろう! 高齢者と話そう! in ぽっぽはうす① 実施日:7月28日、8月18日 参加人数:3人

「ぽっぽはうす」でげんきSUGI体操の準備、受付や高齢者との交流を通じ、ボランティア意識の向上を図った。

⑪ 高齢者を知ろう! 高齢者と話そう! in ぽっぽはうす② 実施日:8月7日 参加人数:2人

「ぽっぽはうす」お話し会での受付や高齢者との交流を通じ、ボランティア意識の向上を図った。

⑫ 知的障がいがある皆さんとすごそう! 実施日:8月27日、28日 参加人数:1人

デイケアかわせみで障がいのある方と一緒に作業したり活動することを通して、障がい者への理解、ボランティア意識の向上を図った。

⑬ 音楽を通してふれあおう! 実施日:8月7日(木) 参加人数:4人

障がい者協議会主催の「ふれあいコンサート」で障がいのある皆さんと歌や楽器演奏を通じて、障がい者への理解、ボランティア活動意識の向上を図った。

⑭ 夏休みは園児と過ごそう! 実施日:7月22日(火)～8月29日(金) 参加人数:18人

保育園での保育体験で園児との交流を通じ、ボランティア意識の向上を図った。

⑮ 幼児と遊ぼう! 実施日:8月5日(火)・19日(火) 参加人数:2人

子育て支援センター「たんぽぽ」でお手伝いや幼児との交流を通じ、ボランティア意識の向上を図った。

⑯ 小学生とふれあおう 実施日:7月22日(火)～8月22日(金) 参加人数:18人

放課後児童クラブでの保育体験で児童との交流を通じ、ボランティア意識の向上を図った。

⑰ いきいきふれあいまつり2025を楽しもう! 実施日:10月4日(土) 参加人数:1人

いきいきふれあいまつりスタッフとして準備・受付・案内・片付け等を通じ、ボランティア意識の向上を図った。

⑬ 体験メニューを用意したが参加が得られなかったメニュー

- ・知的障がいのある皆さんと過ごそう！①(庄内)
- ・知的障がいのある皆さんと過ごそう！②(れんげそう作業所)
- ・楽しくからだを動かしながら交流しよう。障がい児・者交流体験学習(MG体操等)

(3) 福祉ボランティア団体活動見学会

ボランティア活動を自由に見学・体験できる期間を設けボランティア活動のPRを行った。またココティスぎとが主催する後期ココティスクールに参加し、各種ボランティア講座を実施した。

ココスク参加団体:6団体(社協、奉仕団、手話、みみの会、つくし、杉戸すまいる、居場所づくり)、参加人数:23人

体験月間参加団体:6団体(あいうえお、手話、つくし、あおイトマトの会、居場所づくり、ボッチャクラブ)、参加人数:3人

(4) 福祉ボランティアパートナー制度

① ボランティアパートナー団体

社協との協働という視点にたち、対等なパートナーとして活動する福祉ボランティア団体を募り、福祉ボランティア活動を推進し、福祉のまちづくりに活かした。

福祉ボランティアパートナー団体:

- ①点字サークル「杉」②音訳ボランティア「あいうえお」③杉戸要約筆記サークル「つくし」④杉戸手話サークル⑤杉戸すまいる⑥杉戸町福祉ボランティア連絡会⑦ふれ愛フレッシュ⑧あおイトマトの会⑨みみの会⑩ぽっぽはうす⑪NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ⑫すぎと居場所づくり応援隊⑬杉戸町身体障がい者福祉会⑭すまえるプロジェクト⑮杉戸の歴史と民族を考える会⑯はらぺこ⑰すぎとボッチャクラブ(17団体)

② ボランティアパートナー団体支援

ボランティアパートナー団体に対し、団体の自主事業に対する経費を助成した。

助成団体:①点字サークル「杉」②音訳ボランティア「あいうえお」③杉戸要約筆記サークル「つくし」④杉戸手話サークル⑤杉戸すまいる⑥ふれ愛フレッシュ⑦あおイトマトの会⑧みみの会⑨NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ⑩すぎと居場所づくり応援隊⑪はらぺこ(11団体)

助成額:670,000円

(5) 手話奉仕員養成講習会基礎課程

聴覚障がい者の理解と手話技術習得を目指し、手話奉仕員を養成した。

実施日:6月10日～1月27日(毎週火曜日)(全30回)

場所:すぎとピア

参加人数:16人

(6) パソコン要約筆記講習会

聴覚障がいへの理解と要約筆記基礎知識と技術の習得を目指し、要約筆記奉仕員を養成した。

実施日:2月18日～3月18日(毎週水曜日)(全5回)

場所:すぎとピア

参加人数:6人

(7) ガイドヘルプ講習会

視覚障がい者の社会参加を推進するため、知識や基礎的技術を習得し、ガイドヘルプボランティアを養成した。

実施日:10月17日～11月14日(毎週金曜日)(全5回)

場所:すぎとピア、すぎとピア周辺、杉戸町市街地、東武動物公園駅

参加人数:7人

(8) パソコン点訳講習会

点字サークル「杉」との共催により、視覚障がいへの理解と点訳技術の習得を目指し、点訳ボランティアを養成した。当初全10回を予定。人数が集まらなかったため中止としたが、参加希望者が出たため全3回のお試し点訳講座として実施した。

実施日:7月1日～7月15日(毎週火曜日)(全3回)

場所:カルスタすぎと

参加人数:1人

(9) おもちゃの病院

おもちゃドクターが、ものを大切にする心の醸成、世代間交流を目的に、おもちゃの病院を開院し修理を行った。

診療件数:7個　うち完治6個(完治率85.7%)、修理不能1個

(10) スマホ・パソコンなんでも相談会

日本工業大学の協力により情報ボランティアがスマホやパソコンの操作等の相談会を実施した。

前期実施日:5月7日～7月18日

後期実施日:10月7日～12月19日

場所:すぎとピア

相談件数:前期325件・後期234件

(11) ボランティアセンターだより

年2回ボランティアセンターだよりを発行し、ボランティア団体の活動紹介、各種講習会の情報提供、報告を行った。(8月、12月発行)

(12) ボランティア情報紙

年6回奇数月に情報紙を発行し、団体・個人ボランティア並びに住民の皆様にボランティアに関する情報を提供した。

(13) いきいきふれあいまつり2025

杉戸町福祉ボランティア連絡会と共催により開催。町内で活動する福祉ボランティア団体の活動紹介と体験を通じて、ボランティア意識の高揚を図るとともに、杉戸町役場危機管理課・杉戸消防署・埼玉県障害者交流センターの協力により、福祉やボランティア活動意識向上の啓発を図った。

実施日:10月4日(土)

場所:すぎとピア全館・保健センター駐車場

参加人数:200人 杉戸南中学校生徒ボランティア参加者数:7人

内容: ボランティア体験スタンプラリー、煙体験、ミニ消防車、福祉バザー・模擬店、奉仕団による炊き出し訓練、ボッチャ体験、障がい者レクリエーショングッズ体験、社協コーナー(切手整理・すぎびよんぬり絵)、福祉ポスター展、白百合幼稚園児オープニング演奏等

(14) 災害ボランティアセンター

- ① 災害時のボランティア活動を円滑に進めることを目的として、町内ボランティアとして活動する意欲ある個人を「杉戸町災害ボランティア」として登録した。

登録数:個人 2人

- ② 災害ボランティア講習会

地域住民や各種関係機関が一定の知識と理解を蓄積し、大規模災害時における災害ボランティアセンターの役割について共通認識を深め、“いざ”という時のために災害ボランティアの育成を図った。

実施日:3月19日(木)

場所:すぎとピア

参加人数:58人

- ③ 災害ボランティア情報紙

災害ボランティア登録の団体・個人に対して、災害ボランティアに関する情報紙を年1回発行(1月期ボランティア情報紙との合併号)し、情報提供した。

(15) おやこ参加でいい(DAY)キャンプ(再掲 4(2)⑤参照)

杉戸町赤十字奉仕団や杉戸消防署職員に協力を依頼して、小中学生とその親を対象に炊出し訓練やロープ結索方法、災害VC体験等親子で楽しく防災について学べるイベントとして開催した。

(16) プルタブ・ペットボトルキャップ回収運動

アルミ缶のプルタブを回収し、社会福祉施設に届けた。

ペットボトルキャップを回収し、ワクチンを贈る運動に参加した。回収開始時(平成26年4月より)累計個数4,753,755個 累計ワクチン5,132人分

(17) 物品の貸出し

車椅子、白杖、高齢者疑似体験セット、アイマスク等を各種団体、小中学校に貸し出した。

5 福祉教育の推進

(1) 福祉協力校

① 小・中学校

町内の小・中学校を福祉協力校に指定し、交付基準に基づき1校70,000円を限度として助成し、福祉教育を推進した。

指定校: ①高野台小学校②西小学校③杉戸小学校④第二小学校⑤第三小学校⑥泉小学校⑦杉戸中学校⑧杉戸南中学校(8校)

② 保育園・幼稚園

保育園、幼稚園に対して、1園20,000円を助成し、祖父母への手紙の作成等を行った。

指定校: ①泉保育園②高野台保育園③すぎと保育園④高野台こどもの家保育園⑤みちのこ保育園⑥杉戸中央みちのこ保育園⑦西幼稚園⑧中央幼稚園⑨すぎと幼稚園⑩白百合幼稚園(10園)

(2) 小・中学生福祉体験教室(再掲)

小中学生とその親を対象に、手話や要約筆記、切手整理、点字体験教室を開催し、体験を通して福祉の心の育成を図った。

(3) 福祉教育担当者会議

福祉教育推進について全国社会福祉協議会の新たな指針により多角的な対応が求められていることから今後の方針について検討、次年度以降の推進に向けた環境づくりを行った。

(4) 福祉教育の支援

小中学校の総合的な学習の時間において行われる福祉体験学習の場に、登録ボランティア団体や福祉団体を派遣し、当事者の声を届けたり、正しい支援の仕方・注意点等の喚起に努めた。

派遣団体: 杉戸町聴覚障害者協会、杉戸手話サークル、NPO法人すぎスポ、杉戸町社会福祉協議会

体験内容	高齢者	点字	アイマスク・白杖	福祉全般	パラスポーツ	合計
件数	5		4		3	23
体験内容	車いす	手話	要約筆記	当事者講話	その他	
件数	4	3		2	2	

(5) 福祉ポスター展

小学5年生を対象に、福祉に関するポスターを募り、すぎとピア館内に展示した。提出した児童には表彰状と参加賞(ノート)をお渡しした。また、作品は社協ホームページ上に掲載した。

実施日: 10月4日～11月7日

出展数: 40点

6 在宅福祉

(1) 訪問介護・障がい福祉サービス事業(すぎとピアホームヘルプサービスの運営)

① 訪問介護・杉戸町総合事業

介護保険法に基づき埼玉県・杉戸町指定事業所として生活援助・身体介護・杉戸町総合事業のサービスを提供した。

要介護区分: 派遣時間 437.00時間、派遣回数 437回

要支援区分: 派遣時間 62.25時間、派遣回数 78回

利用者数: 19人(延 97人)

② 居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護

障害者総合支援法に基づき埼玉県指定事業所として居宅介護(家事援助・身体介護)及び重度訪問介護、同行援護のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業

派遣時間: 91.5時間 派遣回数: 134回

利用者数: 3人(延17人)

イ 行動援護(利用者数 0人)

ウ 重度訪問介護(利用者数 0人)

エ 同行援護

派遣時間: 81.5時間 派遣回数: 32回

利用者数: 2人(延11人)

③ ケアマネ&ヘルパー通信の発行

毎月1回、居宅介護支援事業所・訪問介護事業所利用者等に、健康づくりのための情報や脳トレ等を掲載した情報紙を発行した。10月からはケアマネ通信として発行した。

(2) 居宅介護支援事業(杉戸町社会福祉協議会居宅介護支援事業所の運営)

介護保険法に基づき指定居宅介護支援事業所としてケアマネジメント等のサービスを提供した。

要介護区分: 利用者数 67人、ケアプラン作成数 605件

要支援区分: 利用者数 18人 介護予防サービス計画作成数 137件

(3) ふれあい家事援助サービス(まごころとどけ隊)

埼玉県地域支え合いの仕組み作り事業の一環として、杉戸町・杉戸町商工会と提携し、高齢者等の介護予防と地域商店の活性化のため、有償による家事援助サービスを行った。利用会員は1時間700円の利用券を購入、協力会員には1時間500円の地域商品券を交付した。

協力会員数: 17人(うち活動者8人)

利用会員数: 21人(うち利用者8人)

利用回数: 181回

利用時間: 186.5時間

協力商店数: 132店

(4) 理容サービス

ねたきりの高齢者・障がい者等に訪問による理容サービスを利用できる利用券(3,000円の助成)を発行した。(年間一人当たり4枚まで)

利用者数: 12人

利用回数: 24回

(5) リフト付車両の貸出し

車椅子使用者等にリフト付車両の貸出を行った。

利用者数:35人 利用回数:168回

車両数:2台

(6) 福祉機器の貸出し

介護を必要とする高齢者、障がい者等に車椅子の貸出を行った。

利用者数:60人 利用回数:65回

7 権利擁護事業

(1) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)

専門員及び生活支援員が利用者の自宅に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理の援助を行った。また、書類等預かりサービスによる重要書類等の保管を実施した。

利用者数:30人 訪問回数:315回

(2) 成年後見支援センターの運営

成年後見制度利用促進の中核を担う機関を、杉戸町からの委託により令和7年7月1日に開設した。

① 広報・啓発

広報紙やホームページを通じて、センターの周知及び広報活動を行った。また支援者の会合に出席しチラシを配布、センターの周知をした

② 成年後見制度に関する相談業務

家族や支援者等から寄せられた成年後見制度に関する相談に、電話・来所により対応した。

・相談件数 23件

③ 会議等の開催

成年後見制度に関わる法律及び福祉の関係者等が連携し、成年被後見人等への支援等を行うため、杉戸町成年後見制度地域連携ネットワーク協議会を開催した。また関係機関とケース会議や連絡調整会を開催した。

8 指定管理

(1) 杉戸町彩の国いきいきセンターすぎとピアの管理運営

杉戸町彩の国いきいきセンターについて、杉戸町から「指定管理者」として指定されたことを受け、利用者が「安心・安全」に施設を利用できるように努めた。

(個人利用(お風呂、趣味活動室、談話室))

(単位:人)

(単位:人)								
項目	無料			有料				個人利用計
	65歳以上			町内		町外	有料計	
	町内	町外	計	一般	児童			
利用者数	16,337	5,371	21,708	116	0	0	116	21,824
月平均	1,361.4	447.6	1,809.0	9.70	0.0	0.00	9.7	1,818.7

(団体利用の件数)

(単位:件)

諸室名	多目的ホール	集会室	趣味活動室	講座室	創作室	計
利用件数	162	82	47	243	209	743
有料件数	19	16	40	65	114	254
免除件数	143	66	7	178	95	489
月平均	13.5	6.8	3.9	20.3	17.4	61.9

(団体利用者数)

(単位:人)

諸室名	多目的ホール	集会室	趣味活動室	講座室	創作室	計
利用者数	10,780	1,353	301	4,603	1,632	18,669
月平均	898.3	112.8	25.1	383.6	136.0	1,555.8

(2) ふるさと元気村

高齢者の運動機能の維持向上及び運動定着化を図った。

(利用者数) (単位:人)

項目	利用者数	登録者数	新規登録者数
利用者数	8,067	1,244	41
月平均	672.3		3.4

(3) オープンギャラリー(再掲・5(6)参照)

小学5年生を対象に、福祉に関するポスターを募り、すぎとピア館内に展示した。

(4) すぎとピアサロン

高齢者の方が住み慣れた地域で生きがいをもち、健康で楽しい生活を送れることができることを目指し、仲間づくりや交流の場としてサロンを開設した。

実施日:毎週木曜日 実施回数:43回

場所:すぎとピア

参加人数:計678人

(5) 健康セミナー

生涯を通じて輝ける健康なまちづくりを目指して健康セミナー(ヨガレッスン)を開催した。

実施日:11月8日(土)

講師:ヨガティーチャー ロッティ 氏

参加人数: ①はじめてのヨガ8人 ②シニアヨガ18人 ③フローヨガ10人

(6) 映画上映会

地域の憩いの場や社会参加のプラットホームづくり推進のため映画上映会を開催した。

実施日:10月27日(土)

上映作品:①それいけ!アンパンマン ばいきんまんとえほんのルルン ②九十歳。何がめでたい

参加人数:237人(①アンパンマン88人 ②九十歳。何がめでたい149人)

(7) まなびピア

町内の小学生を対象に飴細工師を講師としてお招きし、動物飴や飴風船を作る飴細工体験や飴細工師の実演を見ながら普段知ることの出来ない飴細工のひみつを学ぶ機会を提供した。

実施日:7月27日(日)

講師:飴細工師 水木貴広先生

参加人数:42人

(8) 野菜直売デー

買物支援として4月から7月まで毎週金曜日に野菜直売を実施した。8月から休止。

協力:アグリパークゆめすぎと

9 相談活動事業

(1) 心配ごと相談所

家族の問題、暮らし、住まいの問題等心配ごとについて相談所を開設した。

相談利用者数:6人

年間開設日数:12日

(相談事項及び件数)

・6件(生計1件、家族2件、財産1件、その他2件)

10 貸付事業

(1) 生活福祉資金等貸付事業

相談件数: 3件

貸付件数: 0件

貸付額:0円

① 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯の生活意欲の助長及び社会参加の促進を図り、経済的な自立を支援するために生活福祉資金の貸付相談窓口を開設した。

② 臨時特例つなぎ資金

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けする相談窓口を開設した。

③ 特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等による生活困窮者に対し、貸付を行った特例貸付について償還が順次開始していることから、償還免除や償還猶予手続き、フォローアップ支援などの債権管理事務を行った。

(2) 福祉資金貸付事業

低所得世帯の方が臨時的出費、または収入欠如等のために生活が脅かされ、またその恐れがある場合に、その応急的需要を満たし、生活の安定と経済的自立の助長を支援するために資金の貸付をした。

貸付件数:56件

貸付額:1,997,785円

11 その他の福祉活動

(1) 福祉団体の育成・支援

福祉活動を行う団体に、その活動費を助成し、地域づくりの担い手として育成、支援した。

① 杉戸町老人クラブ連合会

杉戸町老人クラブ連合会の実施する各種事業への協力・支援をした。

② 杉戸町福祉ボランティア連絡会

杉戸町福祉ボランティア連絡会の実施する各種事業への協力・支援をした。

・いきいきふれあいまつり2025(再掲4(9)参照)

・ボランティア交流会

ボランティア団体「あおイトマトの会」の活動についての発表と、杉戸町消費生活出前講座を受講した。グループごとに事例に取り組むなかで、共通の課題について意見交換をしたり、町内で活動する福祉ボランティアと民生委員の交流を図った。

実施日:2月2日(月)

場所:すぎとピア

参加人数:40人

・ボランティア研修会

杉戸町の問題について知るため、環境センターでゴミ処理方法など見学した。

実施日:11月13日(木)

場所:杉戸町環境センター

参加人数:21人

③ 福祉活動助成金

助成団体:①杉戸町老人クラブ連合会②杉戸町遺族会③杉戸町赤十字奉仕団④杉戸町民生委員児童委員協議会⑤杉戸町福祉ボランティア連絡会⑥杉戸町身体障がい者福祉会(6団体)

助成額総額:556,000円

(2) 行旅者旅費の支給

交通費に困窮する者に対し、旅費を支給した。

(3) 日本赤十字社杉戸町分区

① 日赤会員募集

実施期間:5月～3月

実績額:1,757,596円

会員数:309人

(内訳)

種別	実績額	内容
一般募金・会員	1,737,596円	各区行政区の協力により戸別募金を行った。また赤十字奉仕団による会員募集を行った。
特別会員	20,000円	特別会員(1万円以上)の募集を行った。

② 被災者援護

火災:1件

③ 義援金・救援金

杉戸町役場及びすぎとピア等公共施設に募金箱を設置、義援金を募集し、日本赤十字社を通じ被災地に送った。

・能登半島地震災害義援金

実績額:3,988,134円(令和6年1月5日から)

(4) 埼玉県共同募金会杉戸町支会

① 赤い羽根共同募金運動

実施期間:10月～3月

実績額:2,829,381円

(内訳)

募金種別	実績額	内容
戸別募金	2,553,912円	各行政区の協力により戸別募金を行った。
街頭募金	28,343円	いきいきふれあいまつり会場に募金箱を設置、募金を募った。
学校募金	85,521円	町内各小・中学校、高等学校で募金を行った。
職域募金	158,166円	杉戸町役場、社協、福祉関連施設や公共機関等からの募金を行った。
個人募金	653円	個人より共同募金に協力をいただいた。
法人募金	2,786円	地域貢献型自動販売機設置企業からの収益の協力をいただいた。

② 歳末たすけあい運動

実施期間:10月～3月

実績額: 1, 405, 702円

(内訳)

募金種別	実績額	内容
戸別募金	1,368,533円	各行政区の協力により戸別募金を行った。
大口・団体募金	37,169円	各種団体、企業、個人による大口・団体募金を行った。

※事業報告附属明細は省略。